表郷中学校だより　令和３年　6月 4日(金)
ポ　プ　ラ
第18号　発行者・文責　校長　菊池　篤志

プールの清掃が終了し、準備完了！

5月中に体育科の大吉先生が中心に清掃していたプールですが、業者の点検等も終了し、使用可能となりました。6月7日(月)3年の授業から始まりますが、火曜日から3日間は中体連総合大会が開催されますので、本格的には総合大会後ということになります。

昨年度、コロナ禍にあって、水泳は可能なのか不安視されましたが、水泳でコロナが感染した例はありません。当然ながら、プールに入る前の3密の状態を防ぐことは必要になってきますので、できる限り対策をした上で実施していきたいと思います。御理解のほど、よろしくお願いいたします。

準備が整ったプール

この土日の体調管理を！

6月8日(火)から3日間、いよいよ県南中体連総合大会が実施されます。県南大会を勝ち抜けば、県大会があります。今年度は、オリンピック・パラリンピックの関係で、県大会が1週間早まり、7月15日から3日間となります。3年生にとっては、県南大会から始まる一連の中体連大会が、最後の大会となります。

これまで、上の大会を目指して練習を積んできた生徒たちですので、最高の状態で大会に臨ませたいですね。そのためには、この土曜日・日曜日の調整が大変大事なものとなってきます。御家庭での御協力をお願いいたします。

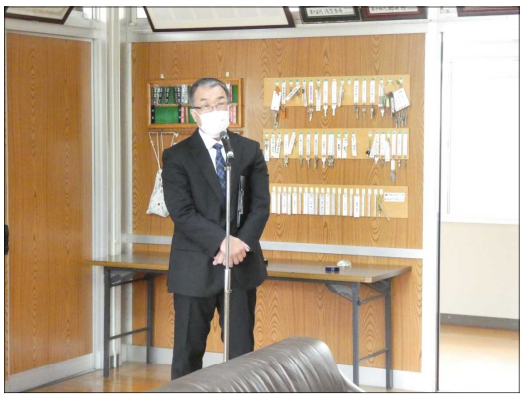
【十分な睡眠】

アメリカの大学で、数週間10時間睡眠を推奨したところ、アスリートのパフォーマンスが向上したという調査結果がありました。10時間睡眠をとれなくても、**通常より多くの睡眠を心がける**ことが大切ですね。

【体の調子を整え、温めていく食事】

ビタミンの多い野菜（小松菜、大根、ニラ、玉ねぎなど）を食べ体の調子を整えることや**体を温める**にんにくやしょうが、腸の状態を高めていくヨーグルトや**納豆**なども良いそうです。

全校朝会での校長の話



今日は、一人一人の命の大切さについてお話しします。いじめの場面も出てきます。ある本に載っていた話です。内容をちょっと読んでみます。聞いてください。

広島の女子高校生のＡ子ちゃんは小児まひが原因で足が悪く、平らなところでも大きな音をたてて歩きます。この高校では毎年７月になると、プールの解禁日にあわせて、クラス対抗リレー大会が開かれます。４人の選手が１人２５ｍ泳いで競争します。この高校は生徒の自主性を尊重し、生徒だけで運営します。その年も生徒だけで選手を決めることになりました。Ａ子ちゃんのクラスでは男２人、女１人は決まったのですが、残る女１人が決まらなかったのです。そこで、そのクラスのいじめっ子が「Ａ子はこの３年間体育祭にも水泳大会にも出ていない。３年の最後なんだから、Ａ子に泳いでもらったらいいじゃないか。」と意地の悪いことを言いました。Ａ子ちゃんはだれかが味方してくれるだろうと思いましたが、だれも味方してくれませんでした。逆にいじめの対象になるからです。

家に帰り、Ａ子ちゃんはお母さんに泣いて相談しました。ところが、いつもは優しいお母さんが、この日ばかりは違いました。「お前は、来年大学に行かず就職するって言ってるけれど、できない仕事を与えられたら、お母さんが『うちの子にこんな仕事をさせないで下さい』と言いに行くの。」とものすごく怒りました。Ａ子ちゃんは自分の部屋で泣きながら２５ｍを歩く決心をしました。

水泳大会の日、水中を歩くＡ子ちゃんを見て、まわりから、わあわあとひどい言葉や笑い声が聞こえてきます。彼女は、プールの中ほどまで進んだ時、ひどい声や笑い声で嫌になり止まってしまいます。

その時でした。何人かの人がプールに飛び込み、Ａ子ちゃんの横に歩いて行きました。それは、この高校の校長先生と何人かの先生方だったのです。校長先生は「何分かかってもいい。先生たちが一緒に歩いてあげるから、ゴールまで歩きなさい。はずかしいことなんかない。自分の足で歩きなさい。」と大声で励ましました。一瞬にして、やじや笑い声は消えました。Ａ子と校長先生たちは、時間をかけてゆっくり歩きました。気がつくと、なんと、みんなが声を出して応援しはじめたのです。長い時間をかけて２５ｍを歩き終わったとき、友達も先生もそして、あのいじめっ子グループの中でも泣いている人がいました。

ちょっと長かったですが、皆さんは、何を感じたでしょうか。Ａ子ちゃんがどんなにかわいそうだと思っても、お母さんが代わりに泳ぐことはできないし、校長先生も代わりに泳ぐことはできないんです。かけがえのない命というものは、人と比べることはできないし、代わることはできないんです。ところが私たちは、ともすると人と比べて自分は劣っていると力を落としたり、自分は優れているといい気になったりするのです。一人一人が自分の命の大切さを考えるべきと思うのです。

それから、もう一つ。表郷中学校の先生方は、本の内容にあった校長先生たちのように、みんなと一緒にどんなときも歩いていく覚悟をもって皆さんと生活しています。つらい事や悲しい事があったら、何でも相談してください。また、先生方は、叱るのも褒めるのも本気です。それは、皆さんの味方だからです。